

2020年1月の天候

令和2年2月5日
盛岡地方气象台

この資料内のデータは速報値です。
後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

《 特 徴 》

**【平均気温が高い】【沿岸の降水量が多い】【沿岸の日照時間が少ない】
【積雪差(降雪)が少ない】**

1 天候経過

〈天候の特徴〉

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線及び冬型の気圧配置等の影響で曇りや雪または雨の日が多かった。なお、中旬以降、低気圧や前線が本州付近を通過し広い範囲で曇りや雪または雨となるが多かったため、沿岸は平年よりも降水量が多く、日照時間が少なかった。月平均気温はかなり高い。月降水量は内陸は平年並から多く、沿岸はかなり多い。月間日照時間は内陸は平年並から多く、沿岸はかなり少ないから少ない。

上旬：冬型の気圧配置となるが多かった、内陸や山沿いを中心に曇りや雪の日が多いところがある一方、沿岸を中心に晴れた日が多いところもあった。また、後半は低気圧や前線の影響で広い範囲で雨や雪となる日もあった。旬平均気温は高い。旬降水量は内陸は多く、沿岸は多いからかなり多い。旬間日照時間は内陸は平年並から多く、沿岸は平年並から少ない。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線及び冬型の気圧配置等の影響で曇りや雪または雨の日が多かった。旬平均気温は内陸はかなり高いから高く、沿岸は高いからかなり高い。旬降水量は内陸は少ないから平年並、沿岸は平年並。旬間日照時間は内陸は平年並から少なく、沿岸はかなり少ない。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線及び冬型の気圧配置の影響で曇りや雪または雨の日が多かった。旬平均気温はかなり高い。旬降水量は内陸は多いから平年並、沿岸はかなり多い。旬間日照時間は内陸は平年並から多く、沿岸は平年並から少ない。

○盛岡、宮古、大船渡の旬及び月統計値

地点\要素	平均気温	平年差	階級区分	降水量	平年比	階級区分	日照時間	平年比	階級区分	
盛岡	上旬	-0.1	1.3	高い	28.0	145	多い	38.9	117	多い
	中旬	-0.1	2.0	高い	10.0	62	平年並	31.8	79	少ない
	下旬	0.7	2.9	かなり高い	13.0	74	平年並	47.7	110	平年並
	月	0.2	2.1	かなり高い	51.0	96	平年並	118.4	101	平年並
宮古	上旬	1.4	0.4	平年並	79.5	410	かなり多い	44.4	90	少ない
	中旬	1.7	1.6	高い	2.0	12	平年並	28.4	54	かなり少ない
	下旬	2.8	2.9	かなり高い	83.5	342	かなり多い	51.6	87	少ない
	月	2.0	1.7	かなり高い	165.0	272	かなり多い	124.4	77	かなり少ない
大船渡	上旬	2.4	1.0	高い	21.5	114	平年並	42.1	97	平年並
	中旬	2.8	2.2	かなり高い	2.0	14	平年並	22.1	47	かなり少ない
	下旬	3.5	3.1	かなり高い	73.5	440	かなり多い	48.8	92	少ない
	月	2.9	2.1	かなり高い	97.0	194	多い	113.0	79	かなり少ない

〈単位 気温:℃ 降水量:mm 日照時間:h 平年差(比):℃(%)〉 平年値:1981~2010年の平均値

2 日別の気圧配置

- 1日：日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 2日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 3日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 4日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 5日：日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 6日：北日本は冬型の気圧配置となる。一方、大陸の高気圧が次第に本州付近に張り出す。
- 7日：本州付近は高気圧に覆われる。一方、前線を伴う低気圧が東シナ海に発生し、急速に発達しながら北東に進む。
- 8日：低気圧が朝鮮半島付近にあって発達しながら東北東に進み、そこからのびる寒冷前線が西日本や東日本を通過、その前線上に別の低気圧が発生し、発達しながら三陸沖を東北東に進む。
- 9日：前線を伴う低気圧が日本の東にあって東に進む。また、別の低気圧が秋田沖にあって東に進み、不明瞭になりながら東北北部を通過、日本付近は次第に冬型の気圧配置となる。
- 10日：大陸の高気圧が次第に日本付近に張り出す。一方、低気圧が日本海西部に発生し東に進む。
- 11日：日本付近は高気圧に覆われる。一方、低気圧が日本海中部にあって発達しながら東南東に進み、東北地方を通過する。また、別の前線を伴う低気圧が東シナ海に発生し、東北東に進む。
- 12日：前線を伴う低気圧が南西諸島付近にあって発達しながら東北東に進む。
- 13日：日本付近は気圧の谷となる。
- 14日：低気圧が能登半島沖にあって東に進み、不明瞭になりながら東北地方を通過する。また、別の前線を伴う低気圧が四国沖に発生し、発達しながら東北東に進む。
- 15日：前線を伴う低気圧が東海道沖にあって急速に発達しながら東北東に進み、日本付近は次第に冬型の気圧配置となる。
- 16日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 17日：北日本は冬型の気圧配置となる。一方、前線を伴う低気圧が南西諸島付近にあって急速に発達しながら東北東に進む。
- 18日：大陸の高気圧が北日本付近に張り出す。一方、前線を伴う低気圧が伊豆諸島付近にあって発達しながら東北東に進む。
- 19日：北日本は高気圧に覆われる。一方、前線を伴う低気圧が日本海西部に発生し東に進む。
- 20日：低気圧が日本海北部にあって東北東に進み津軽海峡付近を通過、そこからのびる寒冷前線が本州を通過する。また、別の低気圧が日本海西部に発生し東南東に進む。
- 21日：低気圧が秋田沖にあって東南東に進み、不明瞭になりながら東北地方を通過する。一方、高気圧が黄海にあって東に移動し、次第に日本付近を覆う。
- 22日：日本付近は高気圧に覆われる。一方、前線を伴う低気圧が黄海に発生し東に進む。
- 23日：前線を伴う低気圧が対馬海峡付近にあって東に進み、西日本を通過する。
- 24日：低気圧が間宮海峡付近にあって発達しながら東に進み、そこからのびる寒冷前線が北日本を通過、北日本付近は次第に冬型の気圧配置となる。
- 25日：北日本は冬型の気圧配置となる。一方、大陸の高気圧が次第に北日本付近に張り出す。
- 26日：北日本は高気圧に覆われる。
- 27日：北日本は高気圧に覆われる。一方、前線を伴う低気圧が東シナ海にあって発達しながら北東に進む。
- 28日：前線を伴う低気圧が四国の南にあって東北東に進む。
- 29日：前線を伴う低気圧が房総半島沖にあって、発達しながら関東の東から三陸沖を北北東に進む。
- 30日：低気圧が三陸沖にあって北北東に進む。また、別の低気圧が能登半島沖にあって東に進

み、不明瞭になりながら東北南部を通過、日本付近は次第に冬型の気圧配置となる。
31日：日本付近は冬型の気圧配置となる。

3 気象統計値表

○気象官署及び特別地域気象観測所(1月として5位まで記載)

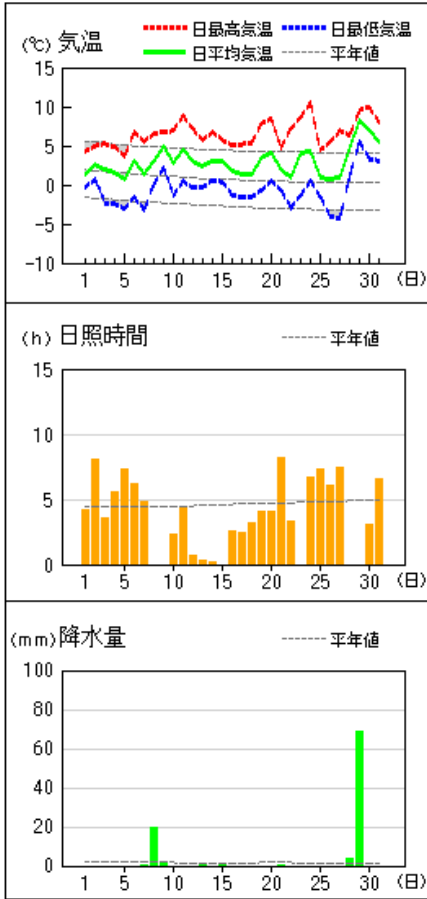
要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
日最低気温の高い方から	℃	盛岡	2	2.4	2020年 1月30日	1924年
		大船渡	5	5.5	2020年 1月29日	1964年
月平均気温の高い方から	℃	盛岡	3	0.2	2020年 1月	1924年
		宮古	5	2.0	2020年 1月	1884年
		大船渡	1	2.9	2020年 1月	1964年
月間日照時間の少ない方から	h	宮古	5	124.4	2020年 1月	1902年
		大船渡	2	113.0	2020年 1月	1964年

○アメダス(1月として1位更新:統計期間10年以上の要素を記載)

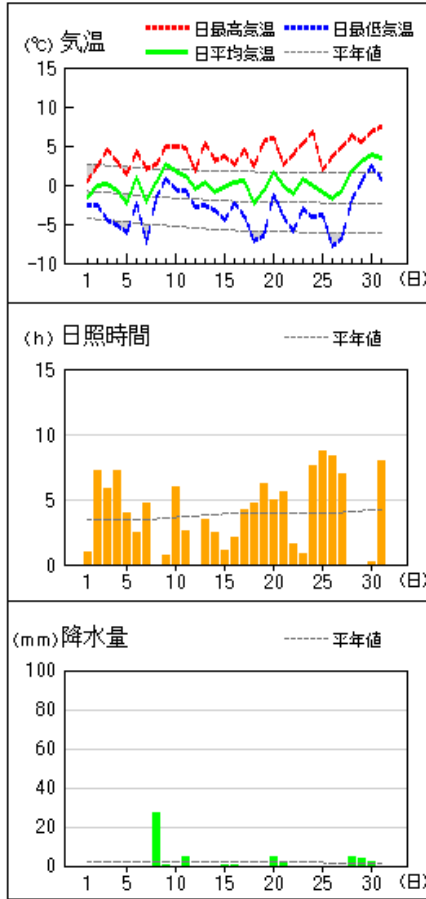
要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
日降水量	mm	軽米	1	53.0	2020年 1月29日	1977年
		二戸	1	42.5	2020年 1月29日	1977年
		普代	1	93.5	2020年 1月29日	1977年
		雫石	1	40.0	2020年 1月 8日	1976年
日最大10分間降水量	mm	軽米	1	1.5	2020年 1月29日	2009年
		葛巻	1	2.0	2020年 1月29日	2009年
		下戸鎖	1	2.5	2020年 1月29日	2010年
		普代	1	3.5	2020年 1月29日	2009年
		小本	1	4.0	2020年 1月29日	2009年
		川井	1	2.0	2020年 1月29日	2009年
		大槌	1	2.5	2020年 1月29日	2009年
		山田	1	2.5	2020年 1月29日	2009年
		遠野	1	1.0	2020年 1月29日	2009年
		釜石	1	1.5	2020年 1月29日	2009年
		住田	1	1.5	2020年 1月29日	2009年
千厩	1	1.5	2020年 1月29日	2009年		
日最大1時間降水量	mm	葛巻	1	8.0	2020年 1月29日	1977年
月降水量の多い方から	mm	種市	1	145.5	2020年 1月	1977年
		軽米	1	112.5	2020年 1月	1977年
		二戸	1	96.0	2020年 1月	1977年
		大野	1	178.5	2020年 1月	1980年
		久慈	1	151.5	2020年 1月	1977年
日最低気温の高い方から	℃	千厩	1	4.6	2020年 1月29日	1977年
月平均気温の高い方から	℃	山形	1	-0.9	2020年 1月	1978年
		普代	1	1.1	2020年 1月	1977年
		小本	1	1.9	2020年 1月	1978年
		湯田	1	-0.5	2020年 1月	1977年
		釜石	1	3.1	2020年 1月	1977年
		若柳	1	0.8	2020年 1月	1977年
		江刺	1	1.2	2020年 1月	1977年
一関	1	1.9	2020年 1月	1977年		
日最大瞬間風速(風向)	m/s	若柳	1	21.8(西)	2020年 1月 2日	2009年
月間日照時間の少ない方から	h	種市	1	91.3	2020年 1月	1987年

4 気象経過図

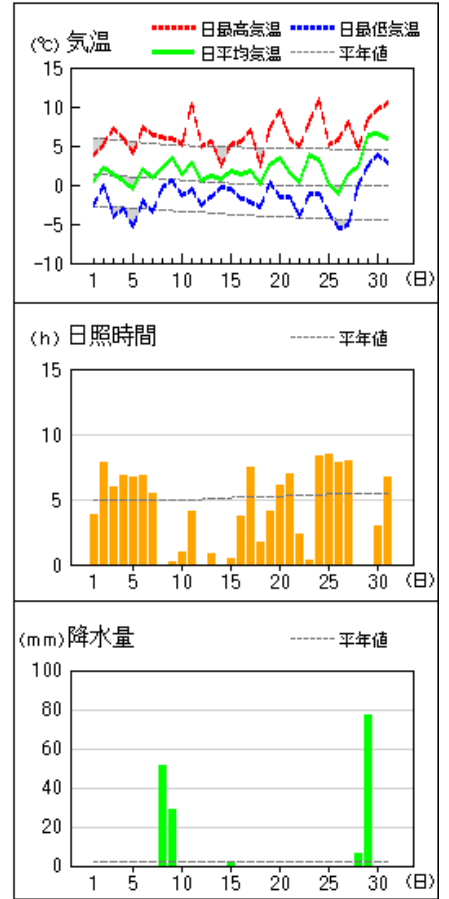
大船渡



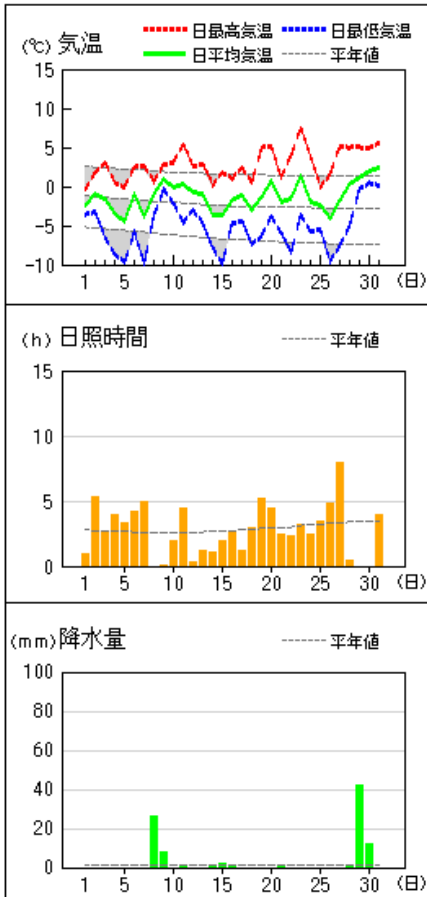
盛岡



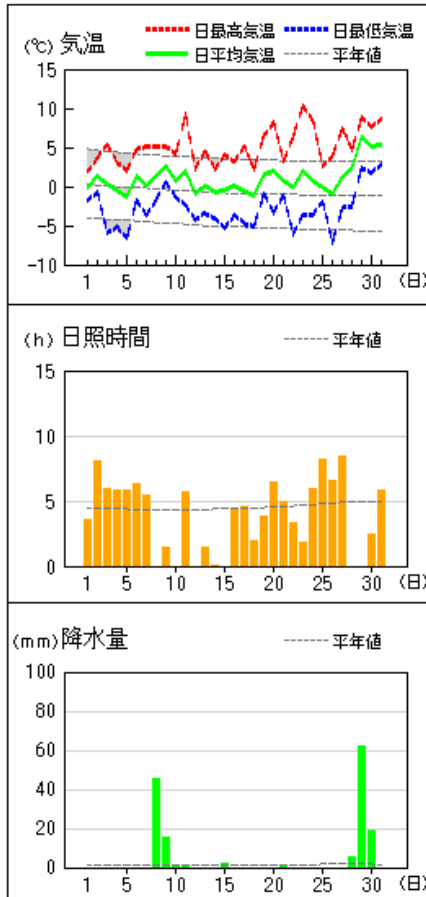
宮古



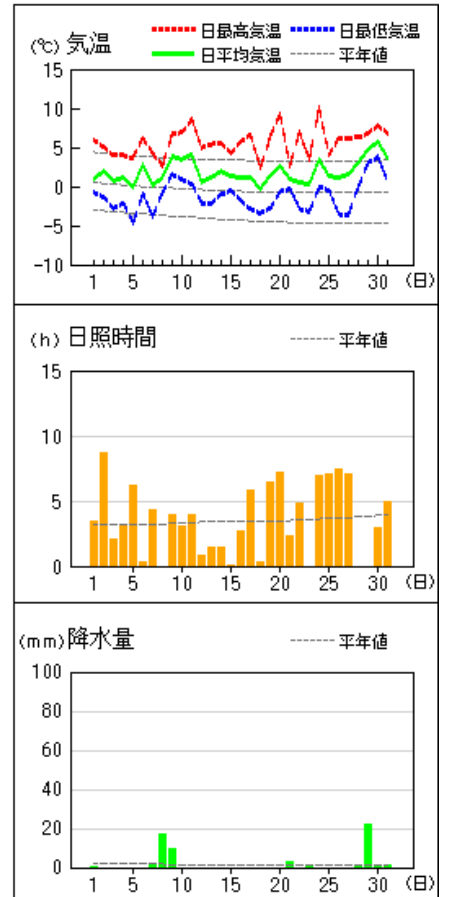
二戸



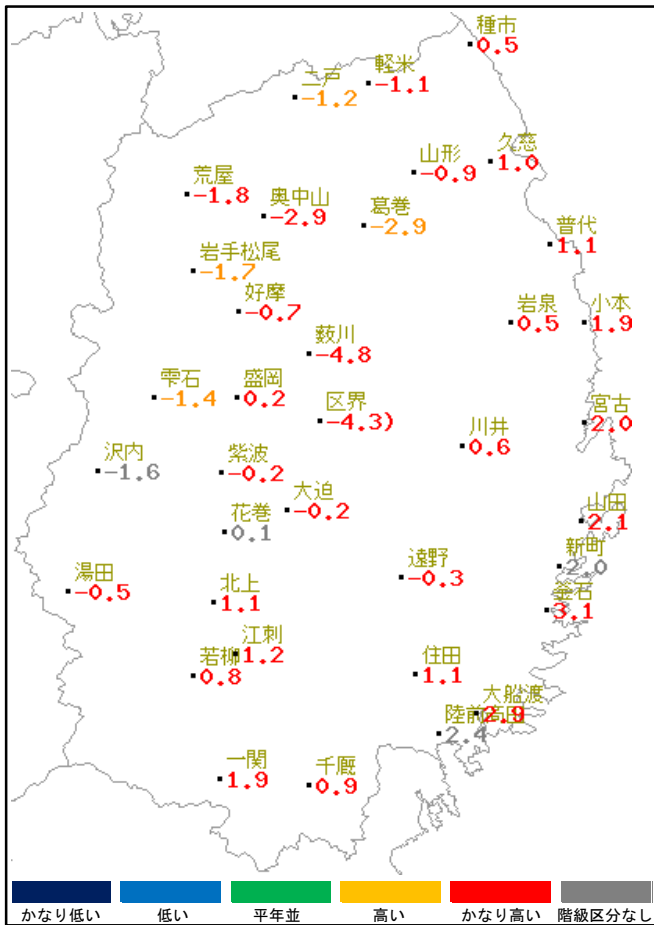
久慈



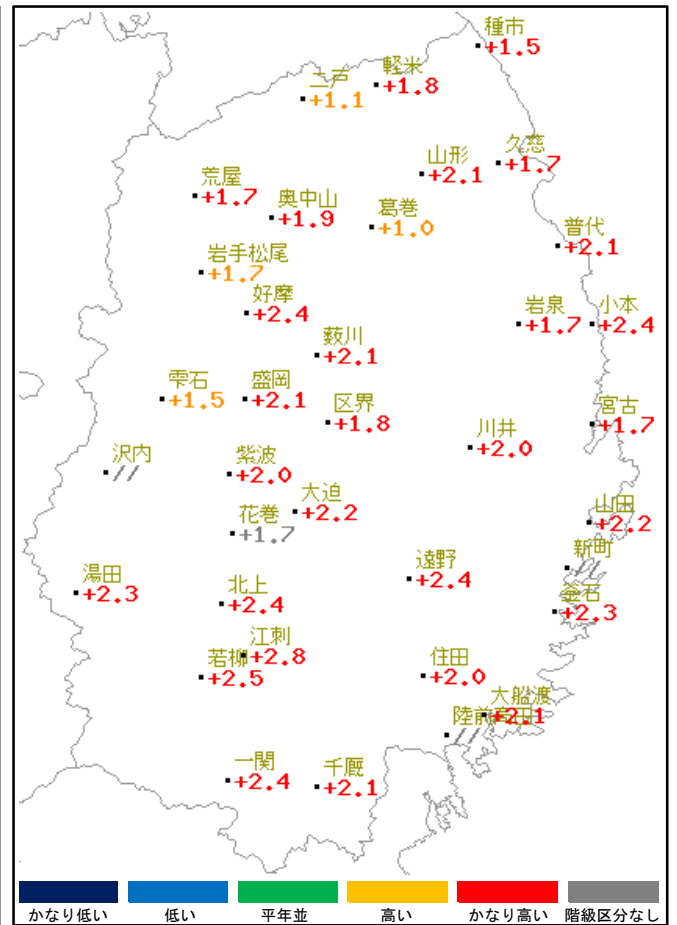
一関



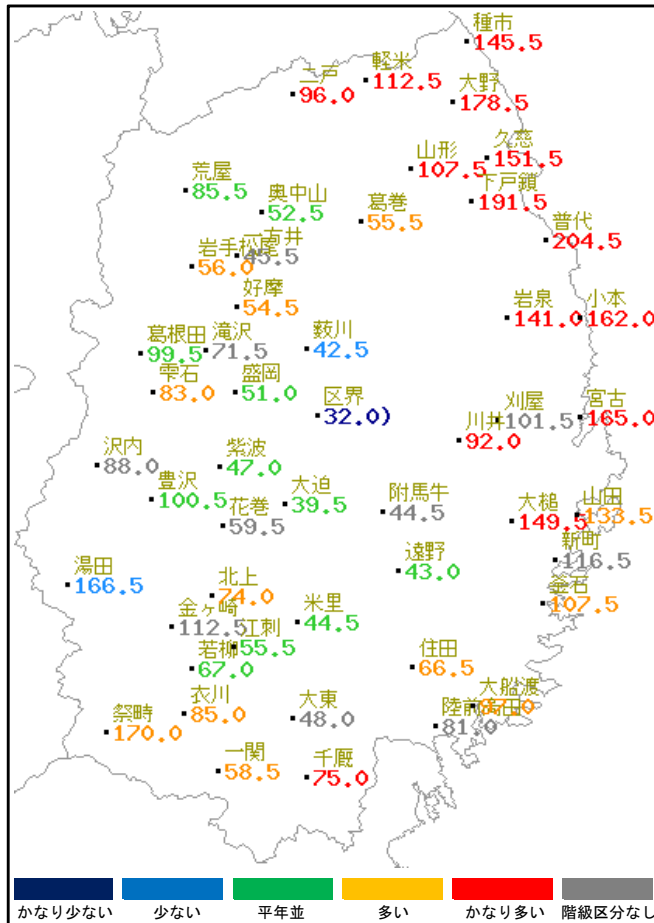
5 気象分布図



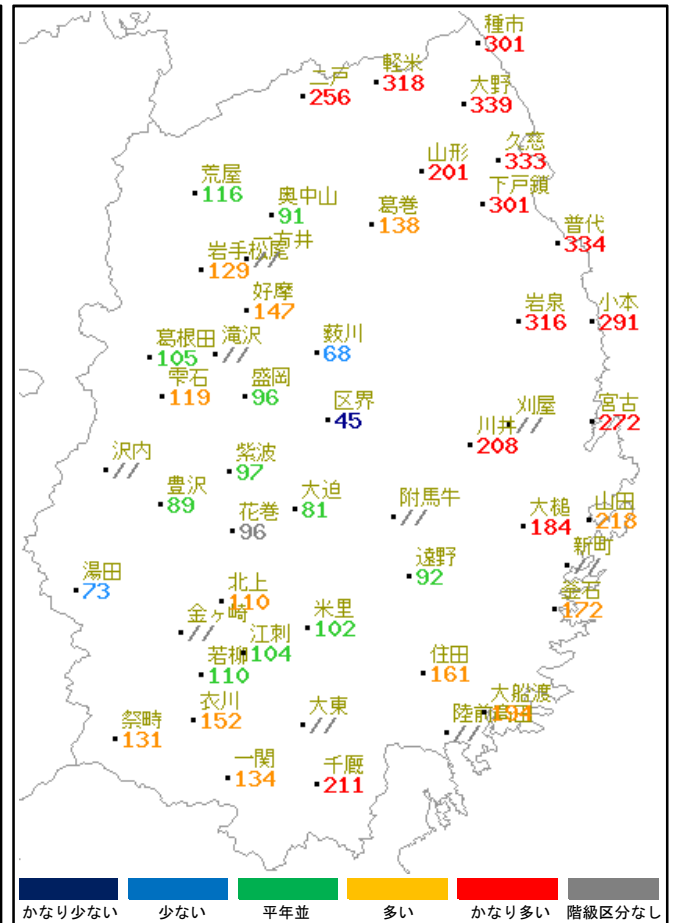
月平均気温実況値(°C)



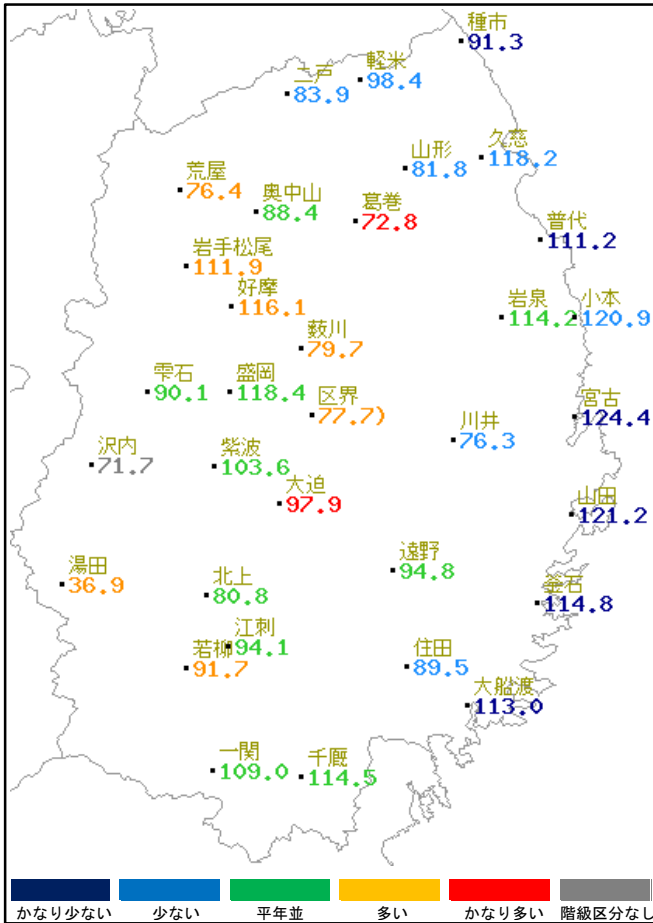
月平均気温平年差(°C)



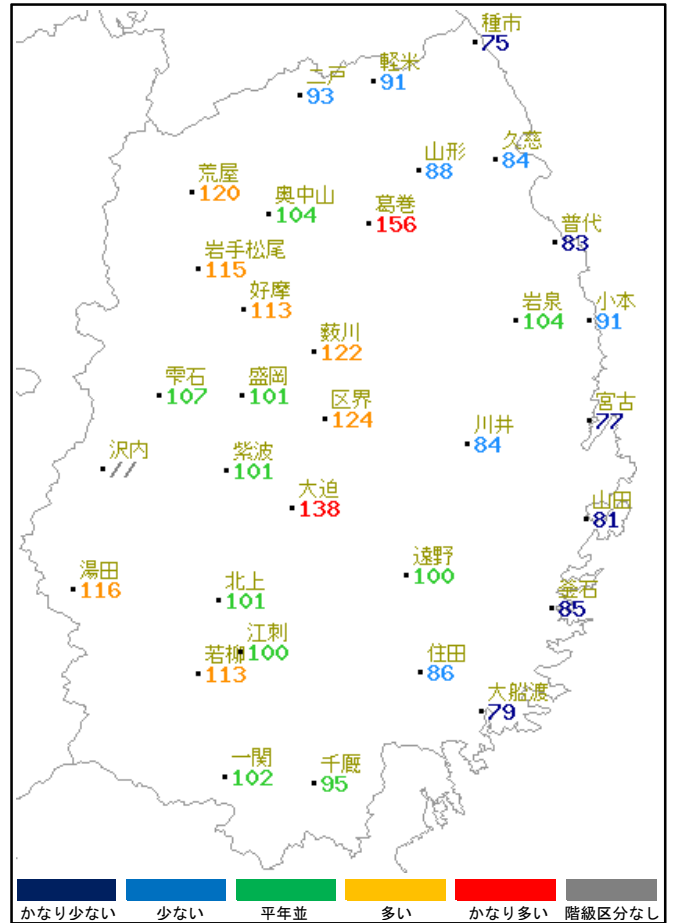
月降水量実況値(mm)



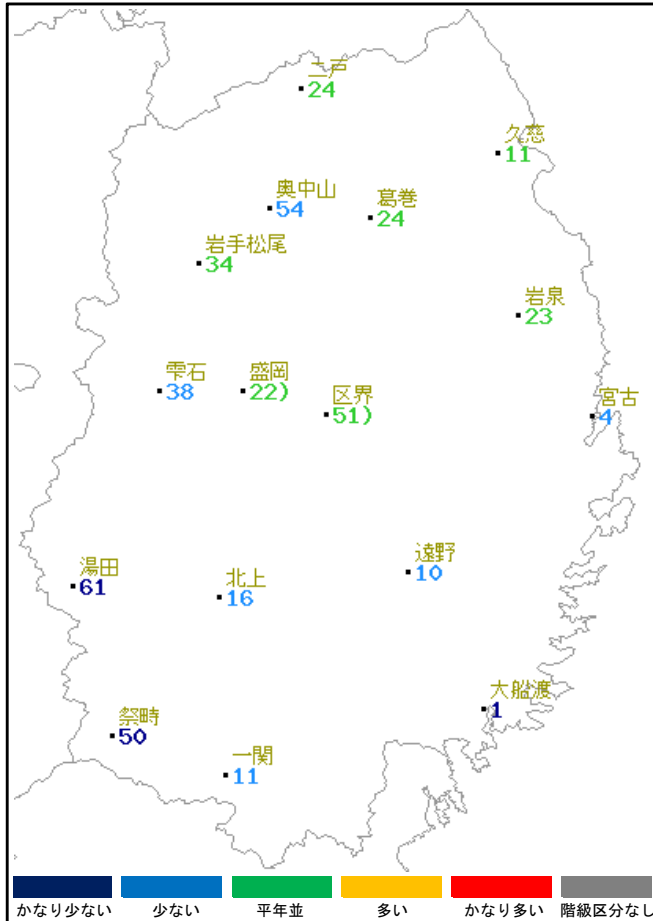
月降水量平年比(%)



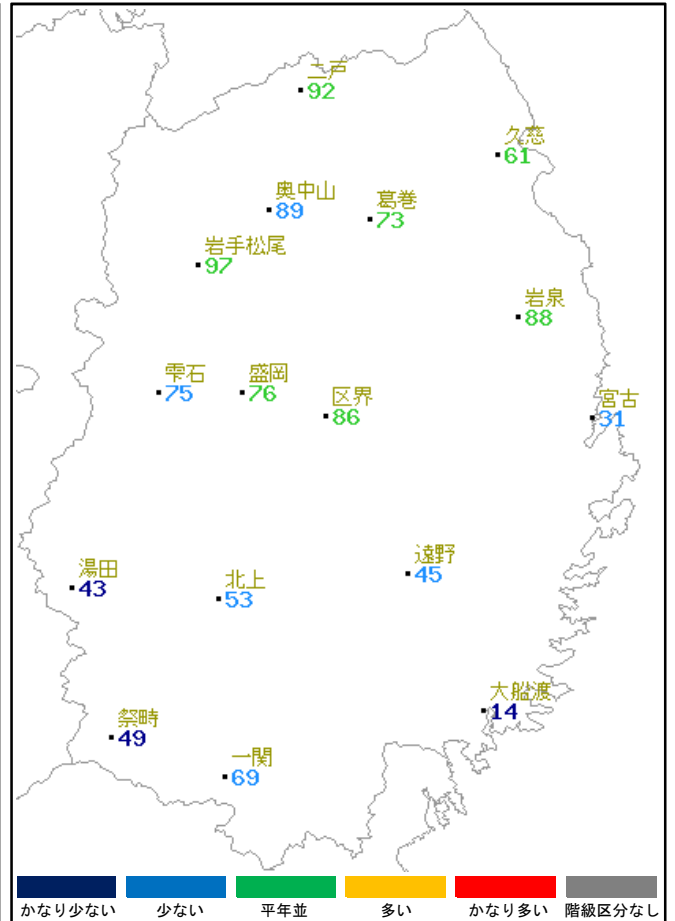
月間日照時間実況値 (h)



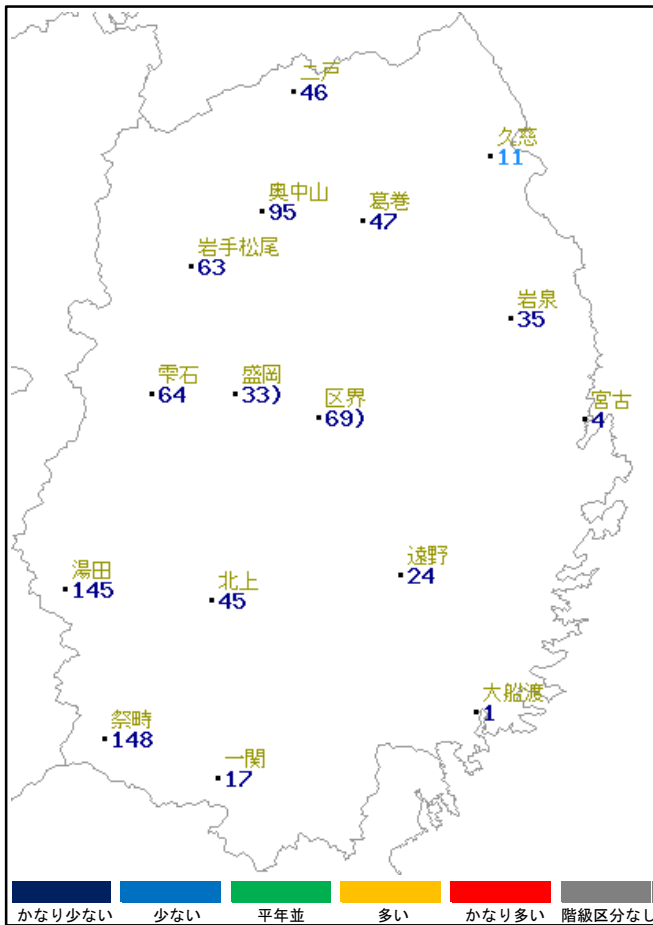
月間日照時間平年比 (%)



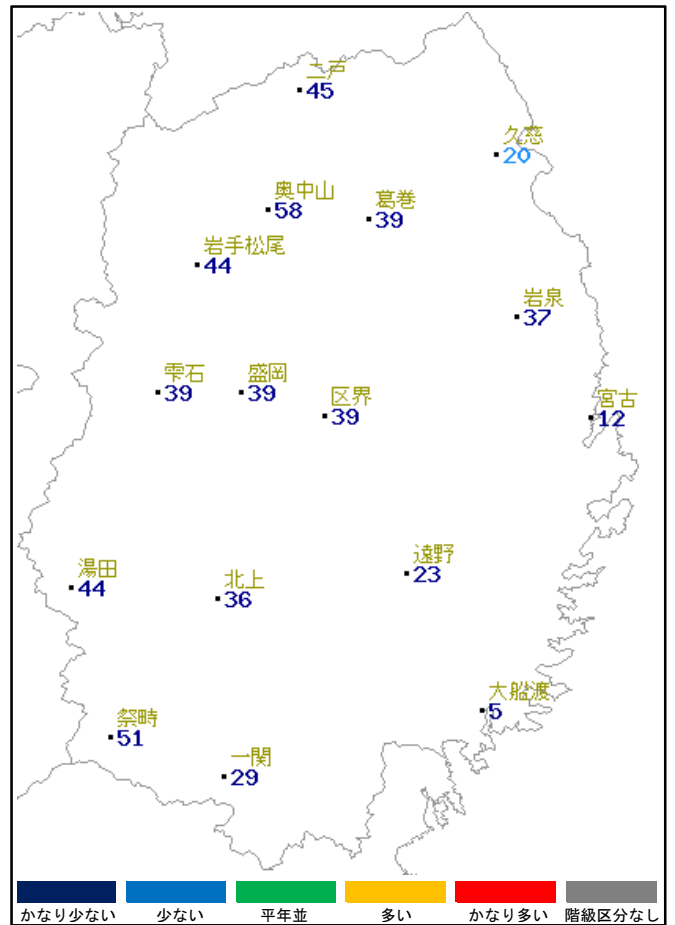
月最深積雪実況値 (cm)



月最深積雪平年比 (%)



月積雪差合計実況値 (cm)



月積雪差合計平年比 (%)

記号の意味) : 準正常値] : 資料不足値 × : 資料なし // : 平年値なし
 平年値 : 1981~2010年の平均値 (花巻は2003~2010年)

6 その他

○1月の日最低気温の極値、冬日と真冬日の日数

地点名	日最低気温 (起日)	日数(平年値)		地点名	日最低気温 (起日)	日数(平年値)	
		冬日	真冬日			冬日	真冬日
種市	-5.5 (5日)	27(29.5)	0(6.2)	沢内	-15.1 (19日)	30(—)	7(—)
軽米	-11.4 (5日)	27(30.6)	1(10.8)	紫波	-8.2 (7日)	27(30.3)	0(9.7)
二戸	-9.9 (15日)	29(30.1)	2(8.7)	川井	-6.7 (26日)	27(29.9)	0(5.6)
山形	-11.2 (18日)	28(30.5)	2(12.2)	花巻	-8.2 (5日)	27(30.3)	0(4.1)
久慈	-7.2 (26日)	27(29.5)	0(3.6)	大迫	-8.3 (19日)	28(30.0)	0(8.0)
荒屋	-14.4 (5日)	29(30.4)	7(15.2)	山田	-5.8 (27日)	25(29.5)	0(0.9)
奥中山	-16.2 (5日)	30(30.8)	11(20.1)	湯田	-11.6 (7日)	26(30.3)	4(13.7)
葛巻	-16.5 (7日)	30(30.6)	10(16.1)	遠野	-10.3 (7日)	29(30.4)	1(9.0)
普代	-6.8 (5日)	28(29.9)	0(2.1)	新町	-5.6 (27日)	22(—)	0(—)
岩手松尾	-13.9 (18日)	28(30.6)	2(12.7)	北上	-5.7 (5日)	26(29.2)	0(6.8)
好摩	-11.2 (26日)	28(30.5)	0(10.4)	釜石	-3.5 (27日)	18(27.2)	0(1.4)
岩泉	-7.0 (3日)	28(30.3)	0(3.9)	若柳	-7.0 (7日)	26(29.6)	0(7.6)
小本	-7.3 (5日)	26(29.6)	0(2.0)	江刺	-6.7 (7日)	26(29.7)	0(6.8)
藪川	-19.1 (26日)	31(30.7)	16(23.8)	住田	-6.2 (27日)	27(29.6)	0(4.3)
雫石	-14.6 (7日)	28(30.5)	4(11.6)	陸前高田	-4.4 (5日)	21(—)	0(—)
盛岡	-7.9 (26日)	27(29.8)	0(7.9)	大船渡	-4.3 (27日)	19(26.7)	0(2.0)
区界	-17.3 (18日)	31(30.9)	20(24.1)	一関	-4.7 (5日)	23(29.2)	0(3.9)
宮古	-5.6 (26日)	24(28.3)	0(1.1)	千厩	-7.3 (7日)	28(29.9)	0(4.3)

- ・ 冬 日：日最低気温が0°C未満の日
- ・ 真冬日：日最高気温が0°C未満の日
- ・ 記号の意味)：準正常値 —：平年値なし
- ・ 平年値：1981年～2010年の平均値(花巻は2003年～2010年)

各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102_00.html

【注意事項】

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、盛岡は気象官署、宮古・大船渡は特別地域気象観測所、その他の観測所は地域気象観測所の観測値を使用しています。

なお、本資料の著作権は盛岡地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「盛岡地方気象台の資料に拠った」旨記載して下さい。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

本資料に関する問い合わせ先

盛岡地方気象台 電話019(622)7870

「月の天候」の内容と資料の見方

1 「月の天候」の内容

(1) 天候経過

月及び旬の天候の特徴を掲載する。また、盛岡、宮古、大船渡の旬ごと及び月の平均気温・降水量・日照時間の観測値と平年差・比、階級区分を掲載する。

(2) 日別の気圧配置

県内の天気に影響したじょう乱など、日別の気圧配置を掲載する。

(3) 気象統計値表(極値・順位の更新)

①気象官署及び特別地域気象観測所

盛岡、宮古、大船渡の観測種目の極値順位(第5位まで)の更新を記載する。盛岡は1923年(大正12年)、宮古は1883年(明治16年)、大船渡は1964年(昭和39年)に観測を開始しているが、統計開始年は観測種目により異なる。

②地域気象観測所、地域雨量観測所(アメダス)

統計期間10年以上の観測種目の極値順位(第1位)の更新を掲載する。

(4) 気象経過図

県内主要6地点(大船渡・盛岡・宮古・二戸・久慈・一関)の日別の観測値(気温・日照時間・降水量)及びこれらの平年値について、経過図を掲載する。

(5) 気象分布図

県内観測地点の月平均気温・月降水量・月間日照時間(12月から3月までは、月最深積雪・月積雪差合計を追加)及び平年差・比の図を掲載する。

(6) その他

県内で発生した気象に起因する主な災害の概況や被害、特徴的な気象経過、気象台からのお知らせなどを記載する。

2 資料の見方

(1) 平年値と平年差・比の階級表現

平年値は寒暖の目安などの基準として使われる値で、10年ごとに更新する。現在使用している平年値は1981～2010年の累年平均である。平年値は30年間の観測資料から計算するが、30年に満たない場合でも8年以上の観測があれば累年平均値を求め、平年値として使用する。

階級区分は「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の3階級で、それぞれの出現率は33.3%。

基準 \ 用語	低い(少ない)		平年並	高い(多い)		
出現率	33.3%		33.3%	33.3%		
	かなり低い(少ない)	←10%		10%→	かなり高い(多い)	
階級値	A	B	C	D	E	F
階級区分の範囲	値 ≤ B		B < 値 ≤ C	C < 値 ≤ D	D < 値 ≤ E	E < 値

- ・ Aは統計期間中(1981～2010年)の最低(少)値、Fは最高(多)値。
- ・ 低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現し、補足的に用いる。
- ・ 階級区分値を求めるための統計期間内の資料の分布に偏りがある場合は、平年値が階級区分の平年並に属さないことがある。

例: 2014年12月 宮古の月降水量は52.0mm

12月降水量		降順に並べる			階級	割合
年	降水量 (mm)	順位	年	降水量 (mm)		
2010	439.0	1	2010	439.0	平年より多い	かなり多い 10%
2009	117.5	2	2006	263.5		
2008	38.0	3	1990	156.5		
2007	84.5	4	2009	117.5		
2006	263.5	5	1989	89.0		
2005	24.5	6	2003	86.0		
2004	78.5	7	2007	84.5		
2003	86.0	8	2004	78.5		
2002	21.0	9	1993	59.5		
2001	43.5	10	1981	49.0		
2000	10.5	11	1984	47.5	平年並	33%
1999	19.0	12	2001	43.5		
1998	20.0	13	1991	40.5		
1997	28.0	14	2008	38.0		
1996	22.5	15	1992	34.5		
1995	15.0	16	1986	33.0		
1994	30.5	17	1994	30.5		
1993	59.5	18	1987	30.0		
1992	34.5	19	1997	28.0		
1991	40.5	20	1982	28.0		
1990	156.5	21	2005	24.5	平年より少ない	33%
1989	89.0	22	1996	22.5		
1988	0.0	23	2002	21.0		
1987	30.0	24	1998	20.0		
1986	33.0	25	1999	19.0		
1985	17.5	26	1985	17.5		
1984	47.5	27	1983	16.5		
1983	16.5	28	1995	15.0		
1982	28.0	29	2000	10.5		
1981	49.0	30	1988	0.0		
合計(30年)	1943.0					
平均(/30)	64.8					

- 階級表現は、30年間のデータを降順に並べ3等分(33.3%)したものを上から順に、[平年より多い(高い)]・[平年並]・[平年より少ない(低い)]と表現する。
- この例の場合、合計は1943.0mm・平均は64.8mmであるため、宮古の12月の月降水量の平年値は64.8mmとなる。しかし、平年値の64.8mmは、階級表現では「平年より多い」となる。
- 宮古の2014年12月の月降水量52.0mmは、平年比 $52.0 / 64.8 \approx 80\%$ と平年より小さな値になるが、階級表現では「平年より多い」となる。
- 平年値を大きくしているのは2010年と2006年の値で、冬期間の沿岸部では特に降水量が少ないため、数年の大雨により平年値が大きくなる事がある。

(2) 平均気温・降水量・日照時間の観測値と平年差・比(日界は24時)

要素(単位)	内容(最小位数)
平均気温(°C)	日平均気温から求めた旬または月平均値(0.1)
降水量(mm)	旬または月降水量(0.5)、「0.0」は降水なしまたは降水量0.5mm未満を示す
日照時間(h)	旬間または月間日照時間(0.1)
平年差(°C)	平均気温は平年値との差(0.1)
平年比(%)	降水量・日照時間は平年値との比(1)

3 岩手県内観測所一覧表(令和元年9月5日現在)

気象官署

観測所名	カタカナ	観測種目					所在地	緯度(北緯)		経度(東経)		観測所の高さ(m)	風速計の高さ(m)
		降水量	気温	風向風速	日照時間	積雪		度	分	度	分		
盛岡	モリカ	○	○	○	○	○	盛岡市山王町	39	41.9	141	9.9	155	15.5

特別地域気象観測所

宮古	ミヤコ	○	○	○	○	○	宮古市鋤鋤ヶ崎下町	39	38.8	141	57.9	43	20.3
大船渡	オホフネ	○	○	○	○	○	大船渡市大船渡町字赤沢	39	3.8	141	42.8	37	22.2

地域気象(雨量)観測所

観測所名	カタカナ	観測種目					所在地	緯度(北緯)		経度(東経)		観測所の高さ(m)	風速計の高さ(m)
		降水量	気温	風向風速	日照時間	積雪		度	分	度	分		
種市	タネイチ	○	○	○	○	○	九戸郡洋野町種市第21地割	40	24.2	141	42.0	70	6.5
軽米	カルマイ	○	○	○	○	○	九戸郡軽米町大字上館第15地割	40	19.5	141	28.0	148	10.0
二戸	ニノハ	○	○	○	○	○	二戸市堀野字馬場	40	17.9	141	17.9	87	6.5
大野	オホノ	○					九戸郡洋野町大野	40	16.9	141	40.0	200	-
山形	ヤマガタ	○	○	○	○	○	久慈市山形町川井	40	8.9	141	34.3	290	10.0
久慈	クジ	○	○	○	○	○	久慈市小久慈町第24地割	40	10.1	141	44.9	13	10.0
荒屋	アラヤ	○	○	○	○	○	八幡平市吹田	40	6.2	141	3.0	290	10.0
奥中山	オクナカヤマ	○	○	○	○	○	二戸郡一戸町奥中山字西田子	40	3.6	141	13.5	430	10.0
葛巻	クヰマキ	○	○	○	○	○	岩手郡葛巻町葛巻第7地割字元町	40	2.4	141	27.4	418	10.0
下戸鎖	シモトクサリ	○					久慈市山根町字下戸鎖	40	5.0	141	42.7	239	-
普代	フダイ	○	○	○	○	○	下閉伊郡普代村第13地割字普代	40	0.2	141	53.0	8	9.4
岩手松尾	イワテマツオ	○	○	○	○	○	八幡平市野駄	39	57.1	141	3.9	275	10.0
一方井	イツカイ	○					岩手郡岩手町大字一方井第15地割	39	58.4	141	10.0	285	-
好摩	コウマ	○	○	○	○	○	盛岡市好摩字芋田向	39	52.1	141	10.0	205	10.0
岩泉	イワヰミ	○	○	○	○	○	下閉伊郡岩泉町岩泉字中家	39	50.8	141	47.7	105	10.0
小本	オホト	○	○	○	○	○	下閉伊郡岩泉町小本字下中野	39	50.8	141	57.8	3	10.0
葛根田	カクネダ	○					岩手郡雫石町西根第3地割上篠崎	39	46.6	140	56.7	350	-
滝沢	タキザワ	○					滝沢市湯舟沢	39	46.8	141	5.8	210	-
藪川	ヤブカワ	○	○	○	○	○	盛岡市藪川字外山	39	47.0	141	19.7	680	10.0
雫石	シズクイシ	○	○	○	○	○	岩手郡雫石町第40地割字千刈田	39	41.8	140	58.5	195	8.5
区界	クザイ	○	○	○	○	○	宮古市区界第2地割	39	39.0	141	21.2	760	10.0
刈屋	カイヤ	○					宮古市刈屋第15地割	39	38.5	141	46.4	140	-
沢内	サウチ	○	○	○	○	○	和賀郡西和賀町沢内字貝沢第4地割	39	32.9	140	50.6	407	10.0
紫波	シラ	○	○	○	○	○	紫波郡紫波町稲藤字七郷	39	32.8	141	7.6	125	10.0
川井	カワイ	○	○	○	○	○	宮古市川井	39	35.9	141	40.9	192	6.5
豊沢	トヨサワ	○					花巻市北豊沢山国有林	39	28.8	140	58.1	300	-
花巻	ハナマキ	○	○	○			花巻市葛第3地割	39	25.7	141	8.1	90	10.0

大迫	オハヤマ	○	○	○	○	花巻市大迫町大迫第13地割	39	28.2	141	16.7	150	10.0
附馬牛	ツキモウシ	○				遠野市附馬牛町上附馬牛第19地割	39	27.4	141	30.4	440	-
大槌	オツチ	○				上閉伊郡大槌町金沢	39	26.3	141	48.4	120	-
山田	ヤマダ	○	○	○	○	下閉伊郡山田町織笠第11地割	39	27.0	141	57.4	24	6.5
湯田	ユダ	○	○	○	○	和賀郡西和賀町上野々第39地割	39	18.6	140	46.6	250	10.0
遠野	トオノ	○	○	○	○	遠野市松崎町白岩第24地割	39	20.3	141	32.6	275	10.0
新町	シンチョウ	○	○	○		上閉伊郡大槌町新町	39	21.6	141	54.4	2	5.5
金ヶ崎	カカサキ	○				胆沢郡金ヶ崎町西根千貫石	39	13.5	141	0.9	170	-
北上	キタミ	○	○	○	○	北上市芳町	39	17.3	141	6.6	61	6.5
米里	ヨネサト	○				奥州市江刺米里字荒田表	39	14.0	141	18.6	170	-
釜石	カマイシ	○	○	○	○	釜石市港町	39	16.2	141	52.7	5	10.0
若柳	ワカヤナギ	○	○	○	○	奥州市胆沢若柳字倉館	39	8.4	141	3.8	97	10.0
江刺	エサシ	○	○	○	○	奥州市江刺愛宕字八日市	39	11.0	141	9.7	42	10.0
住田	スミダ	○	○	○	○	気仙郡住田町世田米字川向	39	8.5	141	34.4	80	10.0
祭時	マツルベ	○			○	一関市巖美町祭時	39	0.7	140	51.9	350	-
衣川	エカガワ	○				奥州市衣川懸田	39	3.0	141	2.7	75	-
大東	ダイトウ	○				一関市大東町猿沢字上ノ洞	39	2.3	141	17.8	140	-
陸前高田	リクゼンタカタ	○	○	○		陸前高田市高田町字鳴石地内	39	1.5	141	37.8	61	5.5
一関	イチノセキ	○	○	○	○	一関市竹山町	38	56.0	141	7.5	32	10.0
千厩	センマヤ	○	○	○	○	一関市千厩町千厩字北方	38	55.3	141	19.8	120	10.0

(緯度・経度は世界測地系で表示)

最新の情報は、気象庁ホームページの以下URL(地域気象観測所一覧)をご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/amedas/ame_master.pdf

岩手県内気象観測施設

